

## 【学校長コラム】 何気ない日々の中でのすばらしさ...

本日は夏休み前最後の授業日。振り返ると、あっという間に73日間が過ぎました。きっと、楽しく充実していたからだと思います。

この間、懸念されたコロナの感染、大きな事故や病気もなく、児童は元気に学校生活を送ることができました。保護者のみなさまのご理解とご支援に感謝いたします。ありがとうございました。

そんなまとめの今週も、うれしいことがたくさんありました。

水曜日、久しぶりの曇り空で気温も低め。朝、私と教務主任が校庭で草を抜いていると6年生が出てきてくれました。それぞれが手早に除草作業を手伝い、10分後にはサッと教室に戻っていきましました。

けやきっ子タイムは5年生。私が倉庫脇で草刈りをしていると、一輪車にたくさんの草を積んだ数名の児童が草を捨てにやってきました。

「校長先生！草刈りご苦労様さまです！がんばってください！」  
満面の笑顔で声をかけてくれました。元気が出ました。

そして、本日の午後。地域の方を講師に招き、戦争体験の話をとおして、5・6年生に平和の大切さについてお伝えいただきました。これは、校長室を訪れ、

「自分が聴いた大切な話をみんなにも聴かせたい！」

というある6年生児童の想いと行動から生まれた大切な機会でした。

音楽室で話を聴く児童の真剣な表情、心からの感想にも感動しました。

だいたい小学校の児童たち。意識せず自然に学校生活を送る何気ない場面の中で、人としてのよさ、すばらしさを見せてくれます。その姿に接し、喜びを感じると共に勇気ももらいます。

41日の長い休みに入りますが、夏休みもそんなけやきっ子たちであり続けてくれると思います。9月1日、一回り成長した一人一人に会えることを楽しみにしています。

